

24. 見返しに父の字若し読始 (三晴) 13点
としこ特選／控え目な父恋。すでに故人であろうか、その父の愛読書だったのだろう。「若し」があれこれをおぼろげに思わせる。

9. 樽の香もついでくれたる初詣 (千枝子) 9点
潤一特選／樽の香りが新年らしさを強調しています。

75. 樽焼ぐよ昔話に付き合はむ (雀) 9点
千代志特選／さあ、気合いを入れて話を聞こうか。長くなるのはいつものこと。

56. たくさんの牛に見られて齧む (澤) 8点
雀特選／牛舎の傍で七草を摘んでゐるのだろう。視線の圧が感じられて、めでたくユーモラス。

5. 始まりの一滴思ふ初山河 (りん) 6点
まさこ特選／人間の力の及ばない大自然への畏敬、讃歌と解釈しました。

63. 昇る日にかがやき始め草氷柱 (とちおとめ) 6点
薑子特選／遠い日に見たあの美しい草氷柱の光景を蘇らせてくれた素直な表現に惹かれた。

107. 寒灯におく一輪の眞くれなる (ぼんだ) 6点
イネ特選／何の花かは叙してはおらず、しかし、鮮やかに景が立ち上がってきます。

125. 漆黒の深き新年始まりぬ (ようこ) 5点
雀並選／「深さ」にこの一年の得体のなさが思われる。それでも前向きに行くという思いの強さ。

120. 始祖鳥に長き尾骨や星冴ゆる (すみれ) 4点
節子特選／今自分が此処にいる不思議や喜びまで感じさせられる。

19. 湯の花の淡きみどりや年始 (山音) 3点
雀特選／温泉で迎えた新年。めでたく美しい表現で言祝いでいる。

44. 気短の子の作りたるごまめかな (ヒロシ) 3点
雀並選／気短かな人が作るとどうなるんだろう。有様を考えさせられて面白い。

106. 美味しいと思ふしあはせ年始 (玲子) 3点
指月特選／「美味しい」と思えるには体だけでなく様々な状況が整ってのこと。真っ直ぐにその幸せを思い起こしてくれる一句です。

30. 淡海は闇に沈みし琴始 (潤一) 2点
くるみ特選／闇の中の湖と琴の音色が、雅びで幽玄な世界へと導く。

113. 早々と弁当届く弓始 (薑子) 2点
雀特選／神事でもある弓始めに弁当というミスマッチが、なんだか人間らしくて素敵だ。